

三月議会一般質問

戸沢議員

(1) 市民に親しまれる本庁舎をつくることについて

新庁舎が開所して10年を迎えた。市役所は市民に親しまれ開放された、市民のための庁舎にする事が求められている。そこで以下のポテンシャルについて伺う。

庁舎入口、五日市街道から出入りする自転車利用の安全性確保について伺う。

庁舎から車両の出入りについては、五日市街道の渋滞のため出口側が混雑する。左右に出やすいように2レーンにすべきと思うが、その考えはないか。

自転車、バイク置き場の改善について

防災センター入口の自転車置き場は、常に一杯である。またバイク置き場がないため自転車置き場の北側が利用されている。本来の駐輪場は東側にあるが、十分に活用されていない。現在の駐輪場を広げ、使いやすくすることはできないか。

障がい者の市役所利用のため、障がい者用駐車場に屋根を設置するよう再三求めてきた。なぜ実現できないのか。

子ども連れの母親が市役所で手続きをしやすいように、授乳室を入口南側のリフレッシュコーナーにつくってはどうか。

地下の「休憩室」は職員と嘱託員の、昼食と休憩所になっている。利用拡充のため、さらに改善する計画はあるか。

一階南側の高齢者、障がい者の相談窓口及び介護保険窓口は担当職員が多く、狭すぎて職員が働きにくい。配置を含め検討してはどうか。

(2) 「市民相談室」を玄関近くに移動できないかについて

先日、総務委員会による高松市への視察が行われた。視察項目ではなかったが、高松市庁舎の入口・正面に「市民相談」「消費者相談」の窓口があった。そこには、市民に寄り添った市役所の担当配置を垣間見た。あきる野市でも窓口配置を再検討してはどうか。

(3) 歩道の改善について

歩道は歩行者と車との事故を防ぐ、安全な外出のためのセーフティネットである。しかし、道路交通法の改正で、自転車は車道左側の通行が強化された。同時に歩道の広いところでは、自転車が歩道を利用することが出来るようになっている。

お年寄りや子どもが歩道を歩いていても、後ろから来る自転車の音が聞こえないことや、自転車が速度の出しすぎから、接触事故が多発している。全国で2000件を超える警察への事故手続きがされている。

先進的な市では、歩道の広さに応じて自転車通行と歩道を分けるため白線や色分け、看板による「お知らせ」をしている市も出ている。あきる野市でもモデル地区など研究し、実施すべきではないか。